

一般社団法人 昭薬同窓会

昭薬同窓会会報

No.
125
年2回発行

2023年10月31日



岩手山と一本桜 八幡平市松尾
撮影者／岩手支部 宮 良男様 (D-24A 昭和51年卒) 撮影地／岩手県八幡平市

花輪線の SL (昭和時代)

【主な内容】

同窓会代表理事 就任挨拶 前代表理事 退任挨拶

叙勲・褒章 瑞宝双光章 田中 由一 氏 (D17A 昭和44年卒)

寄稿 「トライアスロン薬剤師 その1 ～何かに夢中になる事で人生は豊かになる～」

牧野 星 氏 (D-42Y 平成6年卒)

「我が学生時代の思い出 -感動・感激・感謝-」 石田 成弘 氏 (D-33B 昭和60年卒)

「6年制薬学実務実習の現状」

長岡 匠 氏 (D-51S 平成15年卒)

第12回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

支部会紹介 佐賀県支部 支部会便り 多摩南支部

クラス会便り D-14A D-14B

昭和薬科大学新理事長に渡部一宏氏が就任

昭薬同窓生リレー寄稿 第10回 野村 洋介 氏 (D-53Y 平成17年卒)

昭薬ミニミニクイズ

薬局通信 第1回 「私の勤務している薬局紹介」 河野 真紀 氏 (D42-Y 平成6年卒)

平成塾薬剤師業務支援講座報告 小児医療への薬剤師のかかわり/病院薬剤師の現状と未来展望

学究の広場 「造血幹細胞移植患者の汗に含まれるシクロホスファミド含有量調査」

谷川 大夢 氏 (D-60B 平成24年卒)

会員のひろば

同窓会理事・監事紹介

お知らせ



同窓会代表理事 就任挨拶

一般社団法人昭薬同窓会代表理事

田口 恭治 (D-22B 昭和49年卒)

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝で、ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より同窓会活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和5年6月の臨時理事会の推薦で選任され、ご承認をいただき、逸見仁道前会長の後を受けて代表理事を務めさせて頂くこととなりました、昭和49年卒の田口恭治と申します。私は昭和薬科大学4年間、大学院修士課程2年間の修了後に薬理学研究室の助手として採用され、薬理学を学びました。平成9年から薬学教育の6年制に移行するため新たに新設された薬物治療学研究室、その後、薬品作用学教育研究室と38年間お世話になりました。この間、野球部・バスケット部の顧問としても多くの学生と一緒に活動させて頂きました。私自身この昭和薬科大学で繋いだ縁を大切にしております。同窓生の皆様にも、昭和薬科大学で出会った同級生、後輩、先輩や先生方のことを思い出し、その縁を次の世代にも繋いでほしいと思っています。同窓会はクラス会や全国の支部会の活動や開催を支援し、そして同窓生の縁を先輩－同級生－後輩の縦－横に強く結べたらと考えています。

昭薬同窓会の定款の第2条には「会員相互の親睦と研修を図り、昭和薬科大学の発展に寄与することを目的とする」とあります。昭薬同窓会の平成塾は生涯研修認定制度の研修機関（プロバイダー）として、公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（Council on Pharmacists Credentials: CPC）より認

証され認定薬剤師の取得も可能です。研修単位は他の研修機関と互換性があり多くの同窓生が取得しています。さらに、薬剤師業務支援講座を年4回WEBで開催し、病院・薬局で勤務する同窓生を講師として招き、生涯学修の場としても活動を続けてまいります。さらに、経済的に困窮する学生を支援すべく、給付型の昭薬同窓会奨学金を立ち上げる予定です。

近年、残念ですが同窓会会費納入者数が減少傾向にあります。こういう時にこそ、老壮青のバランスが必要であると考えております。今後は6年制の同窓生の方々にどのような形で参画をして頂くかを含め、同窓会の改革を目指して頑張っていきます。同窓会は同窓生のご協力なくしては運営できません。同窓会会員皆様のあたたかいご支援ご協力を頂きながら、創立100周年を迎える母校と同窓会の更なる発展に尽力していきたいと考えています。

略歴

昭和薬科大学薬学部生物薬学科卒業
同 大学院薬学研究課修士課程修了
同 薬理学研究室 助手、講師、准教授
同 薬物治療学研究室 准教授
同 医療薬学教育センター医療薬学部門・薬品作用教育研究室 教授
学校法人昭和薬科大学評議員、昭和薬科大学名誉教授
米国イリノイ州立大学医学部留学 Rockford 校
薬学博士（大阪大学）

【表紙解説】

岩手山と一本桜

岩手県内最高峰の「岩手山」をとり囲んで一本桜は数か所存在します。

ここは八幡平市松尾の「上坊牧野の一本桜」と言って北側に当たります、山脈には鬼が城という険しい峰が特徴です。麓のなだらかな草原に一本そびえるカスミザクラです。盛岡市内が咲き終わってからゆるりと開花し八幡平に春を告げます。

花輪線のSL

昭和44年頃、前森山を背に33.3%の急勾配を後部から補助機関車に後押しされゆっくりゆっくり登ってゆきます。朝もやの中を力強いドラフトを響かせ奥羽山脈に挑みます。蒸気機関車は大正時代のハチロクが満身創傷で渾身の力で進みます。そして秋田県へと向かう貨物列車です。もうすぐサミットの龍が森駅です。今ではまぼろしの駅となり、スキーで有名な安比高原駅として四季それぞれの美しい顔をみせてくれます。

(岩手県支部 宮 良男様 D24A 昭和51年卒)



退任挨拶

一般社団法人昭葉同窓会前代表理事

逸見 仁道 (D-22B/M5 昭和49年卒)

令和5年6月18日を以って一般社団法人昭葉同窓会代表理事(会長)を定款の規定により退任いたしました。在任6年の間、皆様には大いなるご支援を頂き、誠にありがとうございました。この間予期せぬ社会情勢の変化もあり、就任時に考えていたような十分な活動ができなかったと悔やまれることもあります。まずは財政の健全化を図るために広報関連では同窓会誌作成費及びホームページ維持管理費の削減、学術関連では通信講座テキスト作成費削減等で約300万円の節約ができました。また、会費収入の増加が期待できない状況で一般会計寄付金である運営協力金を創設し、成果を上げています。更に、細かいところでは事務機器(コピー機プリンター等)の見直しを行い、無駄な出費の削減に努めました。運営面での改革として銀行届出印の統一や使っていない銀行口座の廃止など銀行口座の整理と刷新でインター

ネットバンキングにも対応しました。しかしながら、任期のほぼ半分はコロナにしてやられました。コロナ禍により会合や集会の自粛は同窓会活動の大きな阻害要因となり、支部会や懇親会の開催ができませんでした。特に60周年記念祝賀会と講演会の中止は残念なことで、次回(65周年か70周年)に期待したいと思います。

しかしながら、コロナ禍で始めたWEB会議形式は一部制限はあるものの遠隔地からの参加も可能で、社員総会や平成塾研修会のあり方に新しい光を差し込みました。WEBなどのネットを利用した形態は今後ますます便利になると思われまますので、同窓生間のコミュニケーションに利用価値を高める環境整備が必要となるでしょう。最後に同窓会の運営に協力して頂いた皆様に心より感謝の意を表します。以上簡単ですが、退任の挨拶とさせていただきます。



田中 由一氏が 瑞宝双光章 を受賞されました

令和5年度春の叙勲で、田中由一氏(D-17A 昭和44年卒 群馬県支部支部長)が瑞宝双光章(学校保健功勞)を受章されました。心よりお祝いを申し上げます。

自然災害の被害を受けられた方・ご存知の方へ = 情報提供のお願い =

昭葉同窓会には震災や豪雨による洪水・台風などの自然災害による被害を受けられた同窓生に対する見舞金制度があります。しかしながら最近頻発する自然災害の被災者の情報を入手することが難しい状況になっています。

そこで、震災や豪雨など自然災害を受けられた同窓生の方ならびに被災された同窓生をご存知の方は、同窓会事務局へ情報提供(電話・fax・e-mail)をお願いします。

なお、見舞金の原資として会費から独立した災害基金があります。災害基金へのご寄付も常時受け付けております。よろしく願いいたします。(災害寄附口座は本誌19頁をご覧ください。)

【寄稿】

トライアスロン薬剤師 その1 ～何かに夢中になる事で人生は豊かになる～

牧野 星 (D-42Y 平成6年卒)

世田谷校舎を1年間だけ過ごした白樺研修最後の卒業生です。

歳を積み重ねていくと、社会や家庭の環境変化に伴い誰しもが人生の価値観やライフスタイルに変化が起こります。

限りある人生、このままでいて良いのだろうか？人はいつかは死ぬ、後悔しない人生とは何だろう、と考えた事がある方は多いのではないのでしょうか。

そんな事を考え始めた42歳の時に、私の人生に大きな変化と成長、今までにない満足感を与えてくれたのがトライアスロンでした。

夢中になって目標に向かい自分の時間を過ごす事が人生を豊かにすると気付いたのです。

スポーツや勉強、芸術等で表彰などされた事がなかった私でも、短い距離の大会をやっと完走する所からスタートして、世界最高峰のレース「アイアンマン世界選手権 KONA」に出場する迄になりました。

決してトライアスロンをやりたいと勧めたりは全くありません。夢中になっている事があればなんでも良いのです。

トライアスロンと聞くと多くの方は「鉄人レース」「辛くて苦しい事を何故するのか」「自分には到底できない」「勧められてもやりたくない」とイメージすると思います。10年前の私もそうでした。

きっかけは些細な事です。健康のために少しジョギングやマラソンを始めた頃、高校の同級生から「地元でトライアスロンのレースが開催されるから出てみないか」と誘われて半年後のレースに何となく申し込んだのです。

クロールで50mも泳げない所からのスタートだったので、覚悟を決めて近くのトライアスロンスクールに通い始めました。数ヶ月後には泳げる距離が伸びて苦しくて怖かったスイムがだんだん楽しくなっていました。

身体や体力の変化だけではありません。トレーニング時間を作る為に時間の大切さに気付き、今必要な事を選択するようになり行動も主体的になってきました。

この歳になっても成長できる事に喜びを感じ、毎日ワクワクしてきたのです。

そして長年医療業界しか知らなかった狭い視野は、人生に前向きなトライアスリートたちとのたくさん

の出会いにより大きく広がりました。

トライアスロンは、スイム3.8km、バイク180km、ラン42kmを続けて行うスポーツで自分の力だけで競い合います。レース中にラッキーや奇跡は起こりません。自分でやってきた事以上の成果は絶対に生まれないのです。

今の自分は過去の行動の積み重ねで出来ているのだと体感させてくれました。

どんな事でも自分を変えて成長したいと思うなら、結局は「知識」とか「出来るという思い込み」ではなく「やる事」が全てでした。

子供の頃のように常識や世間の当たり前にとらわれず、何か夢中になっている事はありますか。

今回は移住先に決めた沖縄県宮古島での経験をお伝えします。



【寄稿】

我が学生時代の思い出 —感動・感激・感謝—

石田 成弘 (D-33B 昭和60年卒)

東京で初めての一人暮らし、束縛のない自由、個性豊かな友人・先輩・先生方との出会い、何か楽しいことが起きる期待感、いつも空腹ではあったが毎日が充実した学生時代であった。世田谷校舎は手狭ではあったが、それを補うに十分な白樺校舎での講義や実習。友人たちとの共同生活は、実に思いで深いものであった。いま振り返れば、学生生活を送り多くの感動、感激を得られたのは、不安を抱えながらも田舎から送り出してくれた両親のお陰であり感謝の言葉しかない。

学部2年次以降になると、それまで味わったことのない薬学の専門的な講義と実習が始まり感動する場面が増えていった。4年次特別実習は薬理学を選択した。きっかけは3年時の講義で登場した「拮抗薬」の存在であった。薬の作用を打ち消す薬があるなんて！これは面白い！！と感動し医療用医薬品への興味が高まったことを覚えている。入学時は薬剤師になって医療に貢献しようと漠然と考えていたのだが、4年次には疾病を研究し新薬を創りたいという強い憧れを持つようになった。研究職に就くため大学院に進学。先生方のご支援も戴き、無事に研究職として製薬会社に就職できた。後年、いくつかの新薬の開発に携わることができ、夢を叶えることもできた。これらは、薬学に関する感動、感激を提供して頂きご教導下さった先生方と職員の皆様のお陰であり、

深く深く感謝申し上げたい。

人生経験とは、様々な失敗の積み重ねか？学生時代には数多くの愚行を繰り返した。友人3人同時無断欠勤で即刻クビになった女子大の学生寮の朝食作り早朝アルバイトなど、思い返せば赤面する赤ゲット談は枚挙に暇がない。思い出深いのは、前後期の定期試験対策が大変であったこと。1980年代には、携帯やメール、ネットやSNS、デジカメやモバイルPC、ワード、エクセル、パワポ、生成AIなど、いま当たり前にある機器やソフトが一切ない時代であり、何をやるにも情報収集や処理能力、効率性は格段に低かった。試験直前には友人と協働し関連資料やノートをかき集め、どこそこに格安コピー屋があると聞くとそこに駆け込み複写しまくっていた。ホッと一息つくのだが、まだ何も覚えていないので安心は出来ず、そこから勝負の始まりであった。替え歌として生薬ラテン名を覚えたことも懐かしい。友人宅や誠和寮に押しかけ「寝るな！」と声を掛け励まし合っていたことは、偶の夢に出る青春の良き思い出である。

素晴らしき学生生活を可能にしてくれたのは、真摯にお付き合い戴いた先生友人諸氏そして両親の支援のお陰であった。加えて平和と大災害や病魔のなかった時代に、そして自分自身の健康にも心から感謝の言葉を贈りたい。

6年制薬学実務実習の現状

長岡 匠 (D-51S 平成15年卒)

獨協医科大学病院 薬剤部

2006年(平成18年)に、医療の質の向上に貢献できる薬剤師を養成するために薬学教育の6年制が開始されました。6年制になったことで大きく変更となったことの1つが実務実習の期間です。4年制の実務実習では、病院実習4週間あるいは薬局実習2週間の短期実務実習でしたが、2010年(平成22年)からは、病院および薬局実習をそれぞれ11週間行い、参加・体験型の長期実務実習となりました。大学での模擬調剤や服薬指導とはことなり、実際の現場で患者やスタッフと接することは、薬剤師の基本的な業務の修得、患者への態度、社会人としてのマナーを学べる良い機会になっています。また、病院、薬局における実習は、卒業後の進路決定にも参考になっ

ていると思います。

6年制の実務実習開始後、病院と薬局の実務実習が連続して行うことができない実習効率の悪さや、実習施設によって学べる症例に隔たりがあることなどが問題点としてありました。そのため2015年(平成27年)のモデル・コア・カリキュラム改訂により、2019年(平成31年)からは薬局実習を先に行い、連続して病院実習を行うことになりました。また、「代表的な8疾病」が指定され、薬局・病院実習を通じて症例から8疾病を学ぶことで実戦的かつ臨床的な知識を隔たりなく修得できるようになりました。

さらに2024年からは、医学、歯学と足並みをそろえて薬学教育モデル・コア・カリキュラムが改定さ

れる予定となっています。2022年2月に行われた薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会では、「今後の薬剤師が目指す姿」が示されています。シームレスな薬学的管理を実践するために、病院実習では多職種連携を学ぶためチーム医療への参加、薬局実習では薬物療法や健康維持・増進の支援に一層関わり、患者・住民を支えていくため在宅医療への参加が求められています。また、臨床現場において薬学的知見に基づく指導を適切に行うために、コミュニケーション能力をさらに充実させることや地方に所在する施設や機能・規模が異なる施設での実施、実施期間などについて検討され

ています。

2021年（令和3年）4月26日の厚生労働省が行っている「薬剤師の養成及び資質向上などに関する検討会第8回」で報告された2020年（令和2年）から2045年（令和27年）における薬剤師の需給調査では、薬剤師の業務充実により需要が増加すると仮定したとしても、2045年では供給が需要を大きく上回ると予測されています。このような事態を回避するためにも、多職種による協同、在宅医療などの地域連携、薬業連携など今後薬剤師が必要とされることを幅広く経験し学べる病院・薬局実務実習になれば、未来の薬剤師業務も有意義になると考えています。

第12回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

第12回一般社団法人昭薬同窓会社員総会は遠隔会議を中心に書類審議並びに対面会議を併用した形で開催する旨、4月2日（日）の理事会において決定し、手順は下記のとおりとした。

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 社員総会資料の送付（通常通り：事務局→社員全員） | 5月10日（水） |
| 2. 報告審議事項の確認及び質問書提出（社員→事務局） | 5月19日（金）必着 |
| 3. 質問や意見の集約と質問への回答審議（理事会） | 5月21日（日） |
| 4. 質問書への回答及び追加資料等の送付（事務局→社員全員） | 5月下旬 |
| 5. 議案についての賛否返送（社員→事務局） | 6月12日（月）必着 |
| 6. 社員総会（出席は役員および議事運営委員長） | 6月18日（日）13：00～ |
| ・各社員の議案賛否数の確認 | ・議事の承認 |

日時：令和5年6月18日（日）13：00～15：15 場所：昭薬会館5階会議室

出席者：理事 逸見仁道、田口恭治、寺門哲、今泉眞知子、小川洋子、神戸敏江、嶋田直樹、島袋幸昭、鈴木秀樹、豊川夕姫、村上純子
監事 小野寺敏、高田公彦 議事運営委員長 野崎芳雄（D-17Aクラス社員）

WEB参加者 青森支部：齋藤士郎、宮城支部：佐藤英之

社員出席者 神奈川北相支部：高取亨、東京城北支部：吉田定、長野県支部：大熊哲汪、神奈川横浜南支部：吉原隆一、D-12Bクラス：鈴木ますみ、D-11Bクラス：宮崎安弘、D-14Aクラス：森田嘉治、D-14Bクラス：中川明子、D-20Bクラス：小池盛明

議長：逸見仁道（一般社団法人昭薬同窓会代表理事）

書記：今泉眞知子（理事） 島袋幸昭（理事）

社員総数：97名（支部選出社員40名、クラス選出社員41名、部活クラブ3名、社員役員13名） この議決権の数 97個

議案賛否返送数 36名（支部社員19名、クラス社員15名、部活クラブ社員2名）

委任状 9名（支部社員4名、クラス社員5名）

社員総会出席数 23名（支部社員4名、クラス社員6名、理事・監事13名）

WEB参加者数 2名（支部社員2名） この議決権の数 70個

司会：寺門哲 副会長

寺門哲副会長はインターネットを利用したWEB会議出席者の映像と音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が相互に可能となっていることを確認したあと、配布資料のとおり総会議案書の誤植の訂正を行った。続いて、2023年度から社員となった佐藤英之氏（宮城県支部）、前田善子氏（D-43S）、竹花富美子氏（裏千家茶道部）の新社員の紹介後、昨年の総会以降、逝去が判明した方々（61名）に黙禱を捧げた。

定数確認の結果、社員総数97名の内、出席数23名、WEB参加者数2名、議案賛否票数36名、委任状9名、本日の議決権の数は合計70個で定款第22条の規定により、総会は開催が成立している旨、報告、総会開会宣言を行い議事進行に移った。

代表理事挨拶：逸見仁道

過去3年間新型コロナウイルス感染症のため、主として書面による総会開催で対面による開催は出来ませんでした。今年5月から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが2類相当から5類に引き下げられましたので、今年の開催形式について検討しました。地方の社員もし易いように遠隔参加とし書類審議並びに対面会議を併用した形で開催しましたので、皆さん積極的に議論に参加して頂きたいと思います。

定款20条1項に基づき代表理事が議長を務める。

議長登壇：逸見仁道代表理事

書記に今泉眞知子（理事）、島袋幸昭（理事）を任命し、野崎芳雄議事運営委員長が議事日程について説明を行った。

野崎芳雄 議事運営委員長

総会に先立ち議事運営委員会を開き、本日の総会の議事進行について審議した。今年の総会は開催形式がwebによる遠隔参加、書面審査及び対面参加による複合形式による総会の開催となった事を確認し、議事日程は第12回社員総会資料1頁の議事日程とおり審議していく事とした。また、執行部から追加議案提出された「選考要綱に基づき理事会から推薦された理事候補に関する選考委員会報告」についても審議する事とした。

現理事及び監事は本総会后、任期が満了し退任となる。今総会で新理事及び監事が選出される。逸見代表理事は任期3期となっており、定款第27条2項の規定により代表理事に就くことができない。そのために新理事及び監事が選出後、休憩を取り、その間に臨時理事会を開催し代表理事を選定する事とした。議事進行については日程の内容に沿って進めて頂きたい。時間については審議内容に合わせて随時変更し、時間内終わらせるようご協力をお願いします。

報告第1号 令和4年度会務事業報告の件

議長が報告第1号、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年

3月31日まで)の会務事業を資料に基づき説明した
報告第1号 令和4年度会務事業報告に関する質疑、提案、意見等について

【質問】長田哲治(傍聴)

議案書12ページのD-58以降の会員の住所判明者と会費納入者の数が極端に少ない理由は何か

【回答】鳥袋幸昭(総務部長)

D-58以降の卒業生は薬学6年制の卒業生で、大学から個人情報保護等の関係で名簿の提供がなく居住確認ができないために少ない数字となっている。

報告第1号、令和4年度の会務事業報告の賛否

報告第1号の賛否を確認したところ、反対なし、賛成多数で承認された。

議案第1号 令和4年度一般会計決算(案)の件 令和4年度監査報告の件

議長が議案第1号、令和4年度の一般会計決算(案)について説明した。

令和4年度監査報告、監査報告については高田公彦監事が令和4年4月1日から令和5年3月31日までの会計監査及び理事の職務などについて検討した。会計については、会計処理、銀行通帳及びこれに関する資料について調査した。また、理事の職務については、理事会に直接参加し直接観察した。以上の結果から、定款に違反する事実は認められず、いずれも適正に運用されている事が認められたと報告された。

議案第1号 令和4年度一般会計決算(案)及び令和4年度監査報告に関する質疑、提案、意見等について

【質問】神奈川北相支部 高取亨社員

議案書14頁の同窓会財産目録、特別会計「60周年記念事業寄付金」の残金は一般会計とは分けて使い道を考えるべきと思うがどのように考えているか。

【回答】逸見代表理事

60周年記念事業寄付金の残額の用途については在校生の教育支援基金として検討しており、現在規程を作成している。規程が出来たら会員に公表する。

【意見】神奈川北相支部 高取亨社員

教育支援基金として使用することに同感です。賛成します。議案第1号 令和4年度一般会計決算(案)及び監査報告の賛否
議案第1号の賛否を確認したところ、反対なし賛成多数で可決承認された。

議案第2号 令和5年度会務事業計画(案)の件

議長が議案第2号、令和5年度会務事業計画(案)を資料に基づき説明した。

議案第2号、令和5年度会務事業計画(案)に関する質疑、提案、意見等について なし

議案第2号 令和5年度会務事業計画(案)の賛否

議案第2号の賛否を確認したところ、反対なし、賛成多数で可決承認された。

議案第3号 令和5年度一般会計予算(案)の件

議長が議案第3号 令和5年度一般会計予算(案)について資料に基づき提案した。

議案第3号 令和5年度一般会計予算(案)に関する質疑、提案、意見等について なし

議案第3号 令和5年度一般会計予算(案)賛否

議案第3号の賛否を確認したところ、反対なし、賛成多数で可決承認された。

議案第4号 昭業同窓会理事及び監事選考会報告の件

内田智信 理事監事選考委員長が、本総会の終結をもって理事及び監事全員の任期が満了し退任となるため、理事及び幹事の選出並びに立候補の届出等の受付に関する告示(告示期間:2023年3月1日~3月31日)に基づき立候補の届け出があった理事12名、監事2名について2023年4月2日の理事監事選考委員会において、理事・監事として適当であるか審査した結果、理事立候補者12名、監事2名は理事、監事として適当であると判断し推薦する。と報告した。理事立候補者12名、監事立候補者2名は次のとおりである。

理事立候補者 12名(順不同)

鈴木秀樹(D-36B)、豊川夕姫(D-31A)、田口恭治(D-22B)、馬場孝道(D-23B)、鳥袋幸昭(D-20B)、前田順一(D-35B)、逸見仁道(D-22B)、小野寺 敏(D-24B)、神戸敏江(D-36B)、

嶋田直樹(D-35B)、長田哲治(D-52S)、高田公彦(D-28B)
監事立候補者2名(順不同)

村上純子(D-18B)、今泉真知子(D-20B)

議案第4号 一般社団法人昭業同窓会理事及び監事選考会報告に関する質疑なし

議案第4号 一般社団法人昭業同窓会理事及び監事選考会報告は賛成多数で承認されました。

議案第4号(追加提案)

選考要綱に基づき理事会から推薦された理事候補に関する選考委員会報告

議長が理事候補者として小川洋子氏を選考要綱に基づき理事会で推薦し、理事・監事選考委員会に審査を依頼し結果、議案第4号 追加資料として提出した趣旨を説明しました。

議案第4号(追加提案)報告

内田智信 理事監事選考委員長が選考要綱に基づき理事会から推薦された理事候補者小川洋子氏について理事監事選考委員で審査した結果、理事として適当であると判断し推薦すると報告しました

議案第4号 追加提案

選考要綱に基づき理事会から推薦された理事候補に関する選考委員会報告に関する質疑なし

議案第4号 理事会から推薦され立候補した小川洋子氏の理事承認についての追加提案は賛成多数で承認されました。

以上をもって議事が終了したので議長は閉会を宣し降壇

閉会の辞:寺門哲副会長

インターネットを利用したWEB会議システムは終始異常なく、寺門哲副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

議案第1号 令和4年度一般会計決算

(1) 歳入の部

(単位:円)

科目	令和4年度 予算	令和4年度 決算	増減	備考(括弧内は実績)
同窓会費	4,500,000	2,874,000	-1,626,000	納入者数
貯金利息	100	21	-79	
雑収入				
広告料	50,000	5,000	-45,000	
寄付金等	1,800,000	829,000	-971,000	一般寄付金、運営協力金
その他	50,000	0	-50,000	
平成塾	600,000	477,696	-122,304	受講者
講演会等	150,000	50,000	-100,000	
積立金より繰入	0	0	0	
前年度繰越金	2,788,029	2,788,029	0	
収入合計	9,938,129	7,023,746	-2,914,383	

(2) 歳出の部

(単位:円)

科目	令和4年度 予算	令和4年度 決算	増減	備考
会議費				
代議員会・総会	120,000	97,563	-22,437	
理事会・部会	506,000	346,454	-159,546	理事会、部会
小計	626,000	444,017	-181,983	
事業費				
広報関連費				
会報	600,000	512,932	-87,068	会報送料等含む
HP管理料	660,220	660,000	-220	HP管理料変更なし
小計	1,260,220	1,172,932	-87,288	
学術関連費				
平成塾	810,000	717,096	-92,904	会場費・講演料・交通費 CPC年会費、CAPEP年会費
その他	240,000	68,639	-171,361	調査料(書籍代等)
小計	1,050,000	785,735	-264,265	
渉外関連費	30,000	11,390	-18,610	
記念事業関連費	0	0	0	
小計	2,340,220	1,970,057	-370,163	
慶弔費	40,000	0	-40,000	慶弔関係
人件費	2,000,000	1,744,527	-255,473	事務局員給与、交通費
通信費	200,000	145,404	-54,596	電話、FAX、OCN利用料
諸経費	732,000	528,907	-203,093	はがき、封筒、文具、送料等
O A 関連費	250,000	105,521	-144,479	パソコン関連
小計	3,222,000	2,524,359	-697,641	
活動費				
支部会関連費	300,000	215,650	-84,350	支部会参加費懇親会費
各種助成金	400,000	63,060	-336,940	支部会・クラス会、クラブOB会等助成
小計	700,000	278,710	-421,290	
予備費				
予備費	10,000	0	-10,000	
小計	10,000	0	-10,000	
支出合計	6,898,220	5,217,143	-1,681,077	
繰越金	3,039,909	1,806,603	-1,233,306	
支出総合計	9,938,129	7,023,746	-2,914,383	

令和4年度 災害基金決算

(1) 歳入の部

科目	令和4年度決算額	備考
前年度繰越金	1,250,950	
災害寄付金	344,000	
利息	21	令和3年度分9円、令和4年度12円
収入合計	1,594,971	

(2) 歳出の部

科目	令和4年度決算額	備考
見舞金	0	
見舞状作成・送付	0	
繰越金	1,594,971	
支出合計	1,594,971	

60周年記念寄付金決算報告

歳入	歳出	残額	備考
3,212,000	1,772,988	1,439,012	会報122号発行、記念品代、送料に使用

同窓会財産目録

令和5年3月31日現在

科目	令和4年3月31日現在		令和5年3月31日現在	
現金	76,024		156,904	
みずほ銀行	普通	419,875	14,883	
横浜銀行	普通	1,734,156	1,040,382	
郵便局会費振込み口座	普通	163,785	406,097	
郵便局平成塾振込み口座	普通	93,518	40,049	
ゆうちょ銀行	普通	300,671	148,288	
小計		2,788,029	1,806,603	
積立	定期	5,213,091	5,213,179	
みずほ銀行	定期	16,295,896	16,296,172	
三菱UFJ信託銀行	普通	468,519	468,270	
三菱UFJ信託銀行	定期	10,000,000	10,000,000	
小計		31,977,506	31,977,621	
特別会計	りそな銀行 災害基金	普通	1,250,959	1,594,971
特別会計	60周年記念事業寄付金		3,212,000	1,439,012
同窓会財産合計			39,228,494	36,818,207

議案第1号

代表理事 逸見仁道殿

監査報告書

私たちが監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの会計監査及び理事の職務などについて検討した。

会計については、会計処理、銀行通帳及びこれに関する資料の調査をした。また理事の職務については、理事会に参加し直接観察した。

以上の結果から、定款に違反する事実は認められず、いずれも適正に運用されている事が認められた。

令和5年4月16日

監事 小野寺 敏
監事 高田 公彦
(押印省略)

議案第2号

令和5年度会務事業計画(案)

【総務部】

1. 同窓会名簿の管理と住所判明率の向上

新卒者及び住所未定者の住所(連絡先)の判明を図り、住所確定率の向上を図る。

住所未定会員の調査及び会費未納会員にクラス代表と協力し依頼状を送付する。

2. 大学の行事及び同窓会関連行事の収集・伝達

大学関連の行事を通じて大学関係者や在校生との関わり、信頼関係を築いていく。

3. 同窓会活動の情報提供

社員総会や理事会の議事録作成等をはじめ、支部会・クラス会、その他、必要事項の伝達(HP掲載)や情報提供を行うは、同窓会活動を円滑に進める。

4. 社員未選出のクラス、支部、部活クラブ社員の選出

【活動方針】

(1) クラス社員の選出

①理事・監事のクラスで社員未選出クラスは該当、理事・監事が推薦する。

②支部社員のクラスで社員の未選出クラスは該当、支部社員が推薦する。

(2) 支部社員の選出

①社員未選出の支部は、理事、監事、クラス社員、部活クラブ社員が推薦する。

(3) 部活クラブ社員の選出

①社員がいない部活クラブは理事、監事、クラス社員が所属していた部活クラブについて推薦する。

【学術部】

【基本方針】

地域医療を担う薬剤師を対象として、学術ならびに行政や社会の医療ニーズにあわせた情報をWeb等で発信する。平成塾運営委員会を中心に平成塾通信講座、スクーリングを年2回と薬剤師業務支援講座を年4-5回開催し、薬剤師生涯研修プログラマー(G12)として活動し、支部会と連携しながら支部での研修会開催に働きかけをする。

【活動方針】

1. 平成塾通信講座

今年度の平成塾通信講座のテーマ

1) 腎臓・尿路疾患の薬物療法

①ネフローゼ症候群・腎不全の病態生理と薬物療法

②糸球体腎炎・糖尿病腎症の病態生理と薬物療法

③尿路感染症・腎盂腎炎・尿路結石の病態生理と薬物療法

④過活動膀胱炎・膀胱炎の病態生理と薬物療法

2) 悪性腫瘍の薬物療法

⑤胃がん・食道がん・大腸がんの病態生理と薬物療法

⑥肝がん・胆嚢がん・膵がん・肺がんの病態生理と薬物療法

⑦腎臓・前立腺がん・膀胱がんの病態生理と薬物療法

⑧子宮がん・卵巣がん・乳がんの病態生理と薬物療法

これらのテーマは平成塾運営委員会でスクーリングや薬剤師業務支援講座でのアンケート結果で決定した。

2. 平成塾薬剤師業務支援講座の開催日

(日程及び演題はコロナ禍の状況により変更される可能性あり)

1) 薬剤師業務支援講座 1

・開催日 2023年5月21日(日)

・演題 「小児医療への薬剤師のかかわり」

・講師 詫間梨恵(旧姓 池田、D-57S)

・国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部

2) 薬剤師業務支援講座 2

・開催日 2023年7月23日(日)

・演題 「病院薬剤師の現状と未来展望」

・講師(社) 日本病院薬剤師会事務局長 松久哲章先生

(5月に上司:会長 武田泰生氏へと本人へ依頼状送付)

3) 薬剤師業務支援講座 3 「免疫関係」 10月22日(日)

4) 薬剤師業務支援講座 4 「漢方薬関連」 11月19日(日)

3. 平成塾スクーリングのテーマと開催日

1) 第29回平成塾スクーリング

腎臓・尿路疾患の薬物療法、漢方薬関連 2023年9月24日(日)

2) 第30回平成塾スクーリング

悪性腫瘍の薬物療法、緩和医療 2024年2月18日(日)

【組織部】

1. 会費納入者の拡大

会費納入会員3000名達成を目指して、理事・各支部及びクラス選出社員が連携して、クラス・支部会員、友人、知人また職場での同窓生への会費納入の働きかけをする。

2. 支部会・クラス会活動の活性化

1) 横浜北支部(仮称)の発足に向けて引き続き注力する。

2) 休眠支部の支部開催を支援する。

3) クラス会の積極的開催を支援する。

特に還暦前後の年齢層を主に呼びかけを行う。

4) 部活クラブ会の開催支援と呼掛けの強化をする。

3. 九州山口薬学大会における活動

・開催日程 2023年9月22日(金)～24日(日)

・開催場所 出島メッセ(長崎県)

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1

TEL:095-801-0530 FAX:095-823-0888

・学会に出席する同窓生の懇親会を開催し、親睦をはかる。

・九州山口地域の支部活動の活性化を図る。

4. 日本薬剤師会学術大会における活動

・開催日程 2023年9月17日(日)～18日(月・祝)

・開催場所 和歌山県民文化会館

・学術大会に出席する同窓生の懇親会を開催し、親睦をはかる。

・近畿地域の支部活動の活性化を図る。

【広報部】

1. 会報をより充実する。

1) 同窓会活動の報告

2) 125号・126号の発行

- 3) 生涯学習に関する掲載
平成塾スクーリング、薬剤師業務支援講座講演をしていただいた先生や卒業生からの寄稿、現在携わっている仕事・研究等の寄稿等をお願いする。
 - 4) 会員相互の親睦、交流に関する掲載
支部会、クラス会等の開催情報・報告また会報への「わが母校」、「我が学生時代の思い出」と「リレー寄稿」の執筆・写真の提供についてご協力いただくことにより若い世代の同窓生の輪をより広く発展させたい。
 - 5) 全国の支部紹介を企画する。
2. ホームページの活用
同窓会ホームページの見直し等を行うことにより更なる充実を図り、広く情報を発信し、会員相互の交流・親睦をより深める場としても活用されることを目指す。

- 2) 会費納入率の向上については総務部、クラス社員、理事・監事と協力し会費未納会委員に依頼状を送付する。
- 3) 学術部と連携し、平成塾の通信講座、スクーリング、業務支援講座等の参加者を増やし平成塾の自立した会計収支を目指す。

【会計部】

1. 収入の増加策

- 1) 組織部及び広報部と連携した会費納入率の向上、広告費や寄付金等の呼掛けにより収入増を図る。

議案第3号

令和5年度一般会計予算案

(1) 歳入の部 (予算)

(単位：円)

科目	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	予算増減	備考 (令和5年度分)
同窓会費	4,500,000	2,874,000	4,500,000	0	納入者数1500名(955名)
雑収入					
会費	100	21	200	100	
貯金利息	50,000	5,000	50,000	0	広告10件(5000x10)
広告料	1,800,000	829,000	3,000,000	1,200,000	運営協力金1500口
寄付金等	50,000	0	50,000	0	
その他	600,000	477,696	600,000	0	受講者40名
通信講座	150,000	50,000	170,000	20,000	延べ人数200名(40x5) 認証5名
認定薬剤師等	0	0	0	0	
積立金より繰入	2,788,029	2,788,029	1,806,603	-981,426	
前年度繰越金	9,938,129	7,023,746	10,176,803	238,674	
収入合計					

(2) 歳出の部 (予算)

(単位：円)

科目	令和4年度 予算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	予算増減	備考 (令和5年度分)
会議費	120,000	97,563	500,000	380,000	WEB会議 & 対面会議
代議員会・総会	506,000	346,454	506,000	0	理事会10回、部会6回
理事会・部会	626,000	444,017	1,006,000	380,000	
小計	600,000	512,932	1,100,000	500,000	会報発行(2回)送料等
会報	660,220	660,000	660,220	0	
HP管理料	1,260,220	1,172,932	1,760,220	500,000	
小計	810,000	717,096	700,000	-110,000	会場費・講演料・交通費、 CPC年会費、CAPEP 年会費(協議会)
学術関連費	240,000	68,639	240,000	0	調査料(書籍代等)、 PLESO経費
平成塾	1,050,000	785,735	940,000	-110,000	
その他	30,000	11,390	50,000	20,000	CPC、CAPEPの会議費等
小計	0	0	0	0	
渉外関連費	2,340,220	1,970,057	2,750,220	410,000	
記念事業関連費	40,000	0	40,000	0	慶弔関係
小計	2,000,000	1,744,527	2,000,000	0	事務局員給与・交通費
慶弔費	200,000	145,404	150,000	-50,000	電話、FAX、OCN利用料
人件費	732,000	528,907	550,000	-182,000	ハガキ、封筒、文具、送料など
通信費	250,000	105,521	50,000	-200,000	支部会、クラス会、 パソコン関係
諸経費	3,222,000	2,524,359	2,790,000	-432,000	
O A 関連費	300,000	215,650	200,000	-100,000	支部会参加費、懇親会費など
小計	400,000	63,060	400,000	0	支部会、クラス会、 クラブOB会助成金
支分部関連費	700,000	278,710	600,000	-100,000	
各種助成金	10,000	0	10,000	0	
小計	10,000	0	10,000	0	
予備費	6,898,220	5,217,143	7,156,220	258,000	
小計	3,039,909	1,806,603	3,020,583		
支出合計	9,938,129	7,023,746	10,176,803	238,674	
繰越金					
支出総合計					

2023年 社員名簿

2023年4月現在

支部選出社員				クラス選出社員						
No	支部	社員		No	クラス名	社員	No	クラス名	社員	
1	北海道	渡辺 良樹	D-24B	24	福井	小林 広幸	D-34B	41	S-11	根津とよ子
2	青森	齋藤 士郎	D-24B	25	長野	大熊 哲汪	D-17A	42	S-15	藤田 惇江
3	秋田	三浦 敦子	D-25A	26	山梨	浅川 力三	D-22A	43	S-20	須藤 京子
4	岩手	宮 良男	D-24A	27	静岡	鈴木 典之	D-24B	44	D-1	丸山 貞子
5	宮城	佐藤 英之	D-50Y	28	愛知	伊藤 裕至	D-29B	45	D-5A	福室 憲治
6	山形	松田 慎一	D-18A	29	近畿	堤 亮一	D-33B	46	D-5B	黒田 和子
7	福島	関 孝一	D-18B	30	京都・滋賀	本部 一郎	D-21B	47	D-6A	木嶋 敬二
8	茨城	青山 芳文	D-36B	31	岡山	小山 敏章	D-32A	48	D-7B	山内 亮子
9	栃木	鹿村 恵明	D-36A	32	広島	吉田 稔	D-6B	49	D-9A	伊藤 文雄
10	群馬	田中 由一	D-17A	33	山口	末廣 隆	D-31A	50	D-11A	吉見 力
11	千葉	加藤 正博	D-14B	34	香川	安西 英明	D-23A	51	D-11B	宮崎 安弘
12	神奈川	東 小澤 博	D-1	35	高知	堀岡 宏稔	D-31A	52	D-12A	山本 剛
13	川崎	白井 博	D-21A	36	佐賀	藤戸 博	D-23B	53	D-12B	鈴木ますみ
14	横浜	南 吉原 隆一	D-19A	37	大分	淵 祐一	D-22A	54	D-13A	松井 宏之
15	湘南	木下 泰男	D-24B	38	熊本	大川 正晃	D-32B	55	D-13B	服部 脩
16	北相	高取 享	D-14A	39	鹿児島	坂元 成行	D-25A	56	D-14A	森田 嘉治
17	西相	原田 哲夫	D-23A	40	宮崎	大西 直	D-27A	57	D-14B	中川 明子
18	城南	佐藤ひとみ	D-30B					58	D-15B	花村 勝信
19	城北	吉田 定	D-16					59	D-16A	高田 一義
20	多摩	摩 大西 義雄	D-14B					60	D-16B	小岩井敏子
21	多摩	南 炭谷 敦子	D-29A					61	D-17A	野崎 芳雄
22	新潟	湯 曾我 睦巳	D-12B					62	D-17B	渡辺 陸子
23	富山・石川	滝尻 茂晴	D-37A					63	D-18B	阿久津 七光

部活選出社員	
82	合唱部 吉本 文男 (D-26A)
83	バレー部 黒下 龍二 (D-41Y)
84	裏千家茶道部 竹花富美子 (D-33B)

理事及び監事			
85	逸見 仁道	D-22B	代表理事
86	田口 恭治	D-22B	副会長
87	寺門 哲	D-29B	
88	今泉真知子	D-20B	監事
89	小川 洋子	D-12B	
90	神戸 敏江	D-36B	
91	嶋田 直樹	D-35B	
92	島袋 幸昭	D-20B	
93	鈴木 秀樹	D-36B	
94	豊川 夕姫	D-31A	
95	村上 純子	D-18B	
96	小野寺 敏	D-24B	
97	高田 公彦	D-28B	

(敬称 略)

支部会紹介

— 全国の昭薬同窓会支部を順次紹介いたします。 —

佐賀県支部の紹介

佐賀県支部 山崎 昭人(D-38A 平成2年卒)

昭薬同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私 昭薬同窓会佐賀県支部の山崎 昭人と申します。平成2年3月に卒業後30数年の月日が経ちました。旧世田谷校舎で勉学に励んでいた日々を懐かしく思い出しながら今回の記事を執筆しております。さてこちら佐賀県支部でもコロナ禍で支部会を開催活動できない状況が続いております。最近ではないのですが支部長の藤戸先生のもと地元で行われました2013年第75回九州山口薬学大会の開催時には出席されました昭薬同窓会の先生方の御もてなしと交流をはかることができました。続きまして甚だ勝手ながら私個人の経歴と活動内容を紹介させていただきます。私は卒業後製薬会社のMRとして5年間勤務後地元の佐賀に戻り今現在は佐賀市のひので薬局北部店の管理薬剤師として働いております。私個人の活動内容としまして保険調剤薬局に国が求めている対物から対人業務に移行するため様々な事に取り組んでいます。地域住民への積極的なコミュニケーションをはかるため在宅訪問業務や介護ケアプラン検討会議に助言者として参加しています。また学校薬剤師として担当学校の公衆衛生を支援しています。その他佐賀県水泳連盟の専属スポーツファ-



マシストとしてアンチドーピング活動にも取り組んでおります。日々の仕事以外にも自身の健康管理には人一倍気をつけて週末のランニングや日課のストレッチに励んでいてボランティア活動で献血にも協力しております。さて投稿している写真ですが近くの佐賀城本丸歴史館の入口付近の写真です。この歴史館は本丸御殿が復元されていて佐賀の賢人10代藩主 鍋島直正公の銅像がそびえ立ち観光名所になっています。佐賀にお寄りの際は是非足を運んでみて下さい。入場は無料です。最後になりますが昭薬同窓会の皆様の活躍と発展を願い佐賀県支部の報告を終わらせて頂きます。有難うございました。

編集部注：コロナ禍の影響等でここ数年に亘り、支部会そのものが開催不可能な状況で、佐賀の魅力と自己の近況報告をして頂きました。コロナによる規制が緩やかになる昨今、同窓生の皆さまはぜひ佐賀を訪れることをお勧めいたします。また、支部の皆さまには支部会開催の企画立ち上げを期待しております。

支部会便り

多摩南支部会

日時：令和5年2月5日(日)
場所：昭薬同窓会会館5階 会議室
島袋 幸昭(D-20B)

多摩南支部研修会及び総会は令和元年12月1日開催以降、コロナ禍のため開催を控えて来ましたが、コロナウイルス感染者数も減少傾向にありましたので令和5年2月5日昭薬同窓会会館5階会議室に於いて、第25回多摩南支部地域学術研修会と総会を開催しました。

研修会は講師に遠藤篤(D-45Y)先生(藤沢湘南台病院薬剤部長)をお招きし、「実践!薬薬連携から地域医療連携へ」と題し講演をして頂きました。先生は平均寿命の延びに伴う複数の疾患を有する高齢患者の増加、薬物療法の高度かつ複雑化、個々の患者に適した医療を患者と医療従事者が共有意思決定



する時代となっており、生涯にわたって病気と共存しながらQOL (Quality of Life) の維持・向上を目指し、住み慣れた地域で生活するための医療の充実、少子高齢化と疾病構造の変化に対して、医療資源の効率的かつ効果的な活用、このような問題に対応するために地域包括ケアシステムの構築と地域医療構想の策定が推進されている。また、医療機能の分化・連携や地域全体で必要な医療が連続的に提供される

地域完結型医療の実践が重視されるようになっていく。保険医療機関の薬剤師は適切な薬物療法を連続的に提供するために、地域における自施設の役割を理解し、関連する保険薬局や他の保険医療機関等との連携をより一層強化しなければならない。薬業連携はもとより、急性期から在宅医療へ切れ目のない地域医療連携に対して、薬剤師がどのように関わるのか、期待や課題は多い。このような状況下での藤沢湘南台病院での実践的な取り組みについて分かり易く紹介して頂きました。研修会には理事監事他支

部会員含め 17 名とウェブ参加 18 名が参加しました。

研修会終了後、引き続き支部総会を行い、村上純子 (D-18B) 会計幹事から令和元年度から令和 4 年度までの会計及び活動について報告を行い承認された後、支部長に炭谷敦子 (D-29A) 氏を選出しました。支部総会終了後、茶話会を行いました。茶話会には同窓会逸見仁道代表理事をはじめ他支部会員を含めて 15 名が出席しました。コロナウイルス感染に対する懸念からアルコールなしでしたが懇親を深め楽しいひと時を過ごしました。

クラス会便り

D-14A みせる会

森田 嘉治 (昭和41年卒)
日時：2023年5月31日 (水)
場所：新宿プリンスホテル

新型コロナも下火となり、感染分類も 2 類から 5 類に移行した 5 月下旬、4 年ぶりに“みせる会”を開催いたしました。

北海道、岩手、東京周辺の方々 16 名出席し幹事河村氏の乾杯の音頭で和やかな中食事とおしゃべりで盛り上がりました。皆さん 80 歳を迎えても楽しさを

見つけ、若々しく、元気一杯、会食しながら近況報告、級友との語りいで時が流れていきました。再会を楽しみにおひらきとなりました。



D-14B

小野 文子 (昭和41年卒)
日時：令和5年6月28日 (水) 11:30 ~ 14:30
場所：東京丸の内南口 アルカナ東京
二次回 はとバス観光 15:00 ~ 16:00

最終クラス会を開催いたしました。

前回は長野善光寺門前にて開かれましたが、その後コロナの流行で延期になっておりました。今回やっと開催できるようになり、4 年ぶりの集まってみますと、現役でお仕事を続けている方、退職して趣味などで生活を謳歌している方、其々です。すぐに気持ちは学生の頃に戻って歓談、楽しい時が流れました。



二次回は、二階、屋根無しのはとバスにての遊覧です。心地よい初夏の風を感じながら懐かしい、或いは新しい都心の景色を眺めながらのおしゃべりは、さらに思い出が増えた事でしょう。

皆様の御協力を頂き、クラス会を終了することが出来ました。有難うございました。

<クラス会、クラブ部活 OB・OG 会を開催予定の皆様へ>

同窓会では、クラス会 /OB・OG 会の開催にあたり、助成金を交付しております。また、開催情報を本会報および本会ホームページに掲載しております。是非本制度をご活用下さい。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

昭和薬科大学新理事長に渡部一宏氏が就任

令和5年5月11日付で、本学卒業生の渡部一宏氏（平成7年卒、平成9年修士課程修了）が昭和薬科大学第14代理事長に就任されました。理事長就任後に受けられた薬事日報取材の記事（令和5年6月9日 薬事日報 掲載）をご紹介します。

第12752号

(第三種郵便物認可)

薬事日報

2023(令和5)年6月9日 金曜日 (8)



理事長 渡部一宏氏に聞く

ICT活用した教育環境整備

昭和薬大 薬を通して人類に貢献

18歳人口が減り続け、薬学部志願者も減少し、将来的に薬剤師の供給過剰が予測されるなど、薬科工学を取り巻く環境は大変厳しい。私立の薬科本として次世代に残るには、大学の価値・ブランドを確立することが重宝だ。

「昭和薬科大学、附属校だから入りたい」と思ってもらえる魅力を増く発信していくことが大切だ。まずは、昭和薬科大学、附属校入学した人役員も務めてきたが、薬学教育、薬剤師の人材養成のあり方が変化してきている中、大学が今まで実施してきたことを継承するだけでなく、常に社会が求めることにキャッチアップして新しいことにチャレンジする大学にしていきたい。

中期計画は「教育、研究、地域貢献・連携、法人関連、附属校関連」の方向性を示しているが、今まで進めてきたことを振り返った上で次のアクションを取りたい。大学と附属校ではICTを活用した教育の重要性を学んだので、ICTのノウハウをさらに蓄積していく必要があると考えている。

VR用いて実習や演習強化も

本学ではコロナ禍以前から、録画された講義を自宅で学習できるシステムや、学習支援として電子媒体の資料を生産共有できるシステムを導入していたが、全ての学生・教員が利用していたわけではない。コロナ禍で、オンライン授業の補助金事業、コロナ禍対応でできる医療人材養成に向けて取り組む必要がでてきた。

薬剤師養成が薬科大学の命題だが、薬剤師としてのキャリア形成や多職種連携が大きなウェイトを占め、力強く進めてきた。

チーム医療の大切さ学ぶ場

求められる人材の養成に向けて取り組む必要がでてきた。薬剤師養成が薬科大学の命題だが、薬剤師としてのキャリア形成や多職種連携が大きなウェイトを占め、力強く進めてきた。

薬剤師として目指す進路を自ら考え、希望する進路に大学として背中を押してあげることができ、キャリア形成や就職支援を行ってきた。薬剤師の職は薬局や病院といった臨床現場だけでなく、製薬企業、公務員、アカデミアなど多岐にわたる。製薬企業では薬剤師としてのメテオカルサリエンス（MSL）の役割が重視され、行政

e-ラーニングによる小テスト、レポート提出等を実施し、レポート提出等

成」に採択されたVRゴーグルを用いた実習や演習を強化していきたい。臨床現場で実際に使われている薬剤師の手法を体験できることを次のステップとしていく。

附属校においても、ICTを活用した教育を取り入れ、電子黒板やタブレットを導入した教育環境を整えたい。

他方で、学生同士がコミュニケーションを図り、時間をかけて物事を考える仕掛けであるアクティブラーニングやディスカッションなども教育においては大切な要素である。

をどう捉えているか。

国が示した「患者のための薬局ビジョン」では、薬剤師業務を対物から対人にシフトする方針を打ち出している。対人業務がより重視されるようになってきたことを日頃から臨床系の一教員として学生に伝えていきたい。本学は「薬を通して人類に貢献」を理念として掲げている医療系大学なので、最終的には、教育や研究において患者や医療、社会に貢献できる人材をどう養成するかが理工系学部と大きく異なる点だ。医療系学部で最も重視される病める人々に貢献できる真の医療人になってほしいと考えている。

町田市も含めた多摩地域は高度経済成長長期に団地が造成されて多くの家族が同居したが、子供は独立し、高齢化が進んでいることが課題だ。地域連携センターが主となるよう、これからは多職種連携に関する学びをサポートしていきたい。

—— 地域社会との関わりは、

本学は創立90周年を機に、地域の課題解決センター「地域連携センター」を立ち上げ、町田市と連携を組んで地域に

※本記事は株式会社薬事日報社から利用許諾契約を得て掲載しております。

● 同窓会では、同窓生や母校関係者の叙勲・褒章・顕彰受章、各種受賞、書籍出版などの情報や、新聞・雑誌に紹介された記事などを募集しております。同窓生・母校関係者に関する情報がございましたら、ぜひ同窓会事務局までお知らせください。

昭業同窓生りし一寄稿

第 10 回

【患者支援の在り方を考える】

私は昭和薬科大学卒業後、大手チェーン薬局である阪神調剤薬局（現在のI & H株式会社）に勤務し調剤薬局の薬剤師として勤務をしていた。

実務経験を5年ほどしてから糖尿病エンパワーメントという患者支援の概念を体系的に学ぶ研修と出会った。その概念とは「患者は本来、病気とともに生きる力を持っている、医療者はそれを助ける働きをすることだ」という考えである。この概念を実践に活かすことで私の薬剤師人生は大きく変化した。患者とのコミュニケーションを「説明する」から「聴くこと」、「理解させる」から「気づいてもらう」にシフトすることで患者自身の自発的な療養行動を促し、医療者患者間の関係性をも良好にすることを体感したからであった。

【幅広い視点で健康を考える】

そんな中、より幅広い視点で人の健康について考えたいという探求心から2019年に帝京大学大学院 公衆衛生学研究科へと進学した。社会人を継続しながら就学することは時間的に厳しい面はあったが、あらゆる専門職と知識を共有し人々の健康に関わる問題や課題についてディスカッションを重ねることは大変貴重な経験となった。

在学中は、行動経済学ナッジ（選択の余地を残したまま、金銭的なインセンティブを用いず人の行動変容を起こすための考え方）について研究し、健康に対し関心が低い群と高い群を比較しナッジ（行動決定因子「MINDSPACE」）に対する反応

野村 洋介
(D-53Y 平成17年卒)
一般社団法人
日本保険薬局協会 特任部長



が異なるかをアンケート調査により明らかにした。

【今後の調剤薬局に対する想い】

薬局薬剤師は、単に薬の説明をするだけでなく、日常的な会話を通じて患者の趣味や仕事、大切な人や物、過去の経験など、個々のパーソナリティに関わる深い情報を聴くことで、患者の生きがいを支える役割を担っている。そんな薬局薬剤師のいる調剤薬局は人々が気軽に立ち寄れる場所であり、各地域の健康拠点となる重要な社会的資源となっている。6万店舗存在する薬局を削減することに時間と労力を費やすのではなく、有効活用することにより、より一層健康的な社会を創出できるよう社会に価値を示してゆくことが今後のミッションであると考察している。

【現在の勤務状況について】

現在は一般社団法人日本保険薬局協会へ出向し、薬局におけるエビデンスを基に厚生労働省や行政機関等と意見交換し調剤薬局の強みを提言してゆくという役割を担っている。患者が望む将来の薬局ビジョンが制度設計にしっかりと反映されてゆくよう、今後も研鑽を積んで参りたい。

今回の寄稿者は渡部 裕美（旧姓 横田）氏（D-53Y 平成17年卒）です。



帯状疱疹ワクチン接種希望の友人

あるひ、旦那さんとツマ子さん夫婦を友人の渡久地（わくち）さんが訪れてきました。帯状疱疹ワクチンを打とうとおもっているとこんな相談をしています。

旦那さん： 渡久地君、ひさしぶりだけど元気だったかい。

渡久地さん： いや、50歳をすぎるといろいろ体に支障がでてくるよ。実はこのあいだ、母親が帯状疱疹でひどい目に合ったので、僕もワクチン接種をしようと考えているところなんだよ。

ツマ子さん： 帯状疱疹のワクチンは私たちもきになっているのだけれど、種類があるみたいね。それによって、注射方法やこうにもちがいがあみたいだけれど。

旦那さん： ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあるらしいよ。渡久地君はどっちを希望しているの。

渡久地さん： どうせなら効果がいい方がいいね、値段も違うらしいが、少しくらいたかかっても仕方がないとお

もっているだけだね。

ツマ子さん： あらそんなに値段にちがいがあんの。

旦那さん： 1回ですむのと、2回打つ必要があるのに分かれるけど、1回打ちは8千円、2度打ちは1回2万2千円で合計4万4千円という事だよ。渡久地さんはどっちがいいの

Q： 渡久地さんは、費用がかかっても効果のある方を希望していますが、効果的に以下のどれが該当しますか？

- ① 不活化ワクチンの方が効果が高い
- ② 生ワクチンの方が効果が高い
- ③ 不活化ワクチン、生ワクチンでは予防効果は同様

答えはホームページでCHECK!! <https://shoyaku.net>



株式会社 ROSES ローズ薬局
河野（旧姓花田）真紀（D-42Y 平成6年卒）

平成6年に昭和薬科大学を卒業し、平成8年に昭和薬科大学大学院修士課程を修了した後、病院で約14年間、保険薬局で約13年間勤務してきました。ローズ薬局は、母校に近い相模原市にあり、不妊症や更年期障害、月経困難症等の処方箋を多く受けている薬局です。管理薬剤師の佐藤（旧姓久保田）敦子さん（D42-Y）は同級生で、他にも多くの同窓生が勤務しているため、とても心強いです。系列薬局では、薬学実務実習を受け入れており、昭和薬科大学の学生さんと大学の今昔の話で盛り上がることも多いです。

2022年4月より、生殖補助医療等の不妊治療に関する多くの薬剤が保険適応になり、応需する処方箋にも変化がみられています。そこで、次号に「基本的な不妊治療の解説」として不妊治療の基本薬について、作用機序、使用方法等を解説します。

平成塾薬剤師業務支援講座報告

小児医療への薬剤師のかかわり

日時：2023年5月21日（日）13：00～14：30

形態：Zoomによる遠隔研修会

講師：国立研究開発法人

国立成育医療研究センター薬剤部

詫間 梨恵 先生（D-57S 平成21年卒）



小児医療の薬物療法に関する講演の要望は常に多く寄せられ、要望に沿う形で小児医療の総本山とも言うべき国立成育医療研究センター薬剤部 詫間梨恵氏に講演をお願いいたしました。その講演の概略をご紹介します。小児医療における薬剤師業務では小児用量を考える必要があります、脱カプセルや粉砕を含め調剤が煩雑で大変といったイメージを持たれるかも知れません。しかしながら、未来ある子ども達の成長を一緒に見守っていただけることは

大きな喜びとなります。子どもたちや保護者から学んできたこと、これからも増え続ける医療的ケア児に対し、薬剤師としてどのように関わっていけばいいか、現場で感じている薬薬連携の重要性も踏まえてご紹介して頂きました。具体的には国立成育医療研究センターの紹介から始まり、「小児医療を取り巻く環境」「知っておきたい子どもの薬物動態」「薬の飲ませ方」「子どもと保護者への服薬指導」「医療的ケア児と薬薬連携の必要性」と短い時間に必要な事項を上手に解説して頂きました。恵まれた環境にある国立成育医療研究センターならではの事柄もありましたが、全体として大いに参考になりました。

略歴

2009年 昭和薬科大学薬学部卒業
2010年 昭和薬科大学病院薬学部レジデント
2011年 国立成育医療研究センター薬剤部 薬剤師
現在に至る
資格：小児薬物療法認定薬剤師、リウマチ財団登録薬剤師

病院薬剤師の現状と未来展望

日時：2023年7月23日（日）13：00～14：30

形態：Zoomによる遠隔研修会

講師：一般社団法人 日本病院薬剤師会 事務局長

松久 哲章 先生（D-34A 昭和61年卒）



日本病院薬剤師会事務局長 松久哲章先生に標題の講演を頂きました。講演内容は多岐に亘りましたので、その一部を簡単に紹介させていただきます。

政策医療としては人口動態の高齢化に伴って、地域の特性に応じた地

略歴（2023年7月）

昭和61年3月 昭和薬科大学薬学科卒業
同年4月～平成8年4月 国立病院四国がんセンターほか2施設
厚生省薬務局医薬品機構 出向
平成8年9月～平成12年9月 国立病院四国がんセンター治験管理室
平成14年1月 同 薬剤科 副薬剤科長
平成19年4月 がん研究振興財団助成による海外研修
平成21年1月 米国テキサス州メディカルセンター主にMDアンダーソンがんセンター
国立病院機構山口宇部医療センター 薬剤科長
国立病院機構岩国医療センター 薬剤部部長
国立病院機構呉医療センター 薬剤部部長
日本病院薬剤師会 事務局長
（現在に至る）

域医療構想が進められています。地域医療構想を円滑に実施するために、薬物治療管理の専門家としての薬剤師が行うべきこととして病院及び薬局間で適切に連携する必要があります。具体的には調剤・製剤、医薬品管理、医薬品情報管理等に加えて患者の薬物治療管理をシームレスに対応できる体制の構築が挙げられます。また、現在の薬剤師の不足や偏在が取り上げられており、2024年度から開始される第8次医療計画には「薬剤師確保策の策定」が明記されまし

た、これにより各都道府県では今後の医療・介護提供について患者視点に立った体制が構築格となり、地域の病院・診療所の医師、看護師に加えて薬剤師も適正数配置の医療計画が要求されるようになります。その結果、適切な病棟薬剤業務の展開が期待され、更に多くの病院間連携、病院・薬局間連携が促進され、それぞれの機関がより一層機能し易くなると考えられます。

学究の広場

造血幹細胞移植患者の汗に含まれるシクロホスファミド含有量調査

谷川 大夢 (D-60B 平成24年卒)
東海大学医学部付属病院
薬剤部薬剤科

薬剤師の研究活動は大学職員や研究職が実施することが中心であり、臨床現場の薬剤師の研究活動はまだ普及していない現状がある。一方、臨床には Clinical Question が数多く存在し、それらを敏感に察知できる環境に居る病院薬剤師や薬局薬剤師の研究活動は、薬学研究推進の観点から今後ますます重要になると考えられる。今回、病院薬剤師薬剤師の立場から我々が実施した研究についてご紹介したい。

これまで、抗がん薬の投与に関与した医療従事者において、発がん作用や生殖毒性作用が生じたことが報告されている。また、抗がん薬を投与された患者の尿、便などの排泄物から抗がん薬の成分が検出されることも報告されており、排泄物を介した間接的な抗がん薬曝露により患者と同居する家族や介護者に健康影響が及ぶ可能性がある。一方、汗から排泄される抗がん薬に関する調査はほとんど行われていない。そのため、我々は造血幹細胞移植の前処置で用いられるシクロホスファミド (CPA) 大量療法投与患者の汗に含有する CPA の量と排泄期間を調査した。

方法として、CPA 大量療法 (60mg/kg/回, day1. 2) を受ける患者にシャツ及び枕カバーを提供し、シャワーを使用する際に 1日1回交換したサンプルを CPA 投与日から 4-9 日間回収した。回収したサンプルは液体クロマトグラフィー質量分析法を用いて分析した。

結果として、対象患者 12 例から回収した 126 のサンプル全てから CPA が検出された。シャツに含まれた CPA の中央値は day 1 : 2145 μg (70-10800)、day 2 : 1480 μg (247-2650)、day 3 : 253.5 μg (22.7-2930)、day 4 : 65.8 μg (3.8-469) であった。枕カバーにおいても CPA 投与後から経時的に CPA の排泄量が低下していた。汗中への排泄期間は全患者において day 9 まで CPA 排泄は継続していた (0.04-0.23 μg)。

本研究により、CPA 大量療法を受ける患者の汗には CPA が含有されることが確認された。また、CPA 排泄量は個人差があるものの CPA 投与後数日は特に排泄量が多いこと、排泄期間は CPA 投与終了 1 週間しても微量の CPA が検出されることが明らかとなった。

2022 年度より、外来化学療法において抗がん薬曝露対策に関して患者に説明することが診療報酬の算定要件として定められており、抗がん薬曝露に関する注目が高まっている。今後も抗がん薬曝露に関する研究活動を通じて、がん患者やその家族が安心してがん治療に専念できる体制の整備に尽力していきたい。

略歴

《学歴》2012年3月 昭和薬科大学 薬学部薬学科 卒業
《職歴》2012年4月 東海大学医学部付属病院 薬剤部薬剤科 入職
現在に至る
《所属学会》日本医療薬学会 日本臨床腫瘍薬学会 日本臨床腫瘍学会
《資格》日本病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師
《受賞》2019年5月 日本がん薬剤学会 優秀演題賞

『昭薬同窓会・平成塾』では、通信講座、薬剤師業務支援講座などの生涯学習プログラムを提供しており、研修認定薬剤師の認定及び更新 (他研修機関の単位合算も可能) を行っております。ぜひご活用ください！

通信講座は 2009 年よりスタートし、遠隔の方、子育てに忙しい方などが在宅で学ぶことができ、認定薬剤師の単位を取得できます。 *詳しくは同窓会会報 124 号 14 頁または昭薬同窓会ホームページをご覧ください。

会員のひろば

※昭和薬科大学名誉教授 堀 誠 先生は令和5年6月17日にご逝去されました。(享年91歳)
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



堀 誠 先生の思い出

高田 公彦 (D-28B 昭和 55 年卒)

堀先生の授業は、まず先生が授業内容を丁寧に板書することから始まる。学生はそれを皆必死にノートに書き写す。私は隣の友人に「これ、こういうことだよな？」と確認していた姿が先生の目には自分の神聖な授業中に無駄口を叩いている学生に見えたのだろう。「なに喋っているんだ！教室から出ていけ！」と言われた。無言で座っていると先生はつかつかと私のもとへ来られ、教科書を取り上げると3階の窓から放り投げた。その当時の教科書は、生化学研究室オリジナルの分厚い教科書で、私は針金綴じをペンチで引き抜いて必要なところだけを持っていったのだった。その教科書を3階から放り投げられたのだから、各ページはハラハラと玄関前に散らばった。私は教科書を回収しに教室を出ざるを得なかった。「コンチクショー！」と思った。それで生化学を猛烈に勉強して定期試験では満点こそ取れなかったが95点の成績をとってみせた！卒業して就職した先は偶然にも堀先生が微化研で研究され、授業でも教えていただいたプレオマイシンを製造販売している日本化薬だった。会社の研究室でプレオマイシンの肺毒性を研究し、大学に戻ってからは血管内皮細胞の研究を通じてプレオマイシンの肺毒性の発生機序の一端を明らかにすることができた。大学である日、先生に前述の学生時代のエピソードを話すと、「そんなことがあったかなあ。覚えていない。」と笑っておられた。生化学研究の基本を教えていただいた先生。私の人生の方向性を決めるきっかけを与えていただいた先生。ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

堀 誠 先生の思い出

山崎 勝久 (D-33B 昭和 60 年卒)

(公財) 微生物化学研究会 微生物化学研究所 (微化研) 知的財産情報部 部長
梅澤 濱夫記念館 館長 兼任

去る6月21日、故堀 誠先生の訃報をご子息からメールで頂戴いたしました。17日にご逝去され、すでにご家族のみの葬儀もお済みとのこと。同研究室 (生化学) の方々にも至急連絡したしましたが、先生本人と家族のご意向に添い、個々で静かにお見送りすることとなりました。

思えば大学2年次の新学期、生化学研究室で研究生を募集しているという掲示を目にし、応募しました。入室には実技と英語の試験があり、実技はピペットで水1mlを10本の試験管に分取するというもので、タイムと10本の重さの正確性が評価されました。英語は、論文抜粋の大意を書くというものだけではなく、「文中のitが示すものは何か? () に適当な関代名詞を入れよ」等、文法を重視した問題でした。幸いにも、3人の合格者の中に入ることができ、ここから私の研究者生活がスタートしたわけです。

堀先生は、昭薬の教授とともに、微化研の主任研究員も務められており、夏休みや4年次の多くの時間を、私もそこで過ごすこととなりました。創業研究の最前線での研究生生活は、大学では味わえない刺激的なものでした。大学や企業から若手の優秀な研究者が派遣され、切磋琢磨しながら新薬をつくりあげるプロセスを身近に感じられたことはかけがえのない経験となりました。修士課程も微化研で過ごしたのち、そのまま職員として採用していただきました。また、その12年後には、堀先生のご高配により東京医科歯科大学の博士課程に国内留学し、その後の研究生生活が一段と充実したことは言うまでもありません。

堀先生は、授業中雑談する学生にチョークを投げつけるようなこともありましたが、大変思いやりのある方でした。いつも「僕は他人の人生には干渉したくないな。」とおっしゃっていましたが、私は何度も人生の分岐点で道標を示していただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

同窓会ウェブサイトをご利用ください!

同窓会ホームページでは最近の同窓会活動内容、クラス会・支部会開催情報などを掲載しています。

会員登録・住所変更などのお手続き、会員のひろばへ投稿などにもご利用ください。

多くの皆様にご利用いただけるように、使いやすく、親しみやすいサイト作りを目指し内容の充実を図って参ります。

皆様のご意見ご要望をお寄せください。

パソコン

🔍 昭薬同窓会 で検索

スマートフォン

QRコードをカメラで読み取るだけ!



昭薬同窓会理事・監事紹介 令和5年6月18日の社員総会において承認され、7月に新体制が発足いたしました。

代表理事(会長) 田口恭治(D-22B 昭和49年卒)
[平成塾運営委員会]



令和5年6月に同窓会の代表理事に承認して頂きました田口恭治です。同窓会会員の多くは女性会員です。いろいろなお希望・要望がありましたら是非お知らせ下さい。

理事(新任) 副会長 高田 公彦(D-28B 昭和55年卒)
[総務部事務局長/学術部/会計部]



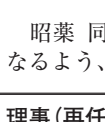
2年間監事、平成塾運営委員を務めながら理事会や業務支援講座に出席し、現在の同窓会活動の現状を認識してまいりました。全国に存在する支部会、クラス会、卒後教育としての平成塾など、昭薬同窓会活動は脈々と続いており、多くの卒業生の拠り所となっております。しかし、近年は新入会員数をいかに増やすかという課題があります。このような状況で先輩方が築きあげてきた同窓会組織を維持していくことは簡単なことではありません。会員数増加に向けて、より魅力的な同窓会活動を企画・PRし卒業生に対する情報発信基地としての機能を一層充実させていくためのお手伝いができればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

理事(新任) 小野寺敏(D-24B 昭和51年卒)
[組織部/会計部]



今まで同窓会の監事をやってきましたが、今回から理事として同窓会の運営に関わることになりました。宜しくお願い致します。

理事(再任) 小川洋子(D-12B 昭和39年卒)
[組織部/会計部]



昭薬 同窓生同志が気楽に交流できる同窓会になるよう、願っています。

理事(再任) 嶋田直樹(D-35B 昭和62年卒)
[学術部(部長)/広報部(HP担当)
/平成塾運営委員会/広報運営委員会]



今期で3期目の理事就任となります、嶋田直樹でございます。私は卒業以来34年間、調剤薬局に勤務して長年管理薬剤師を勤めて参りました。これからも平成塾をはじめとする生涯学習関連事業に少しでも貢献できればと考えております。よろしく願い致します。

理事(再任) 鈴木秀樹(D-36B 昭和63年卒)
[組織部(部長)/総務部/広報部]



よろしく願いいたします。

理事(再任) 豊川夕姫(D-31A 昭和58年卒)
[会計部(部長)/学術部/広報運営委員会]



今年度から会計部を担当する事になりました。引き続き宜しくお願い致します。

監事(新任) 今泉真知子(D-20B 昭和47年卒)
[広報運営委員会]



2023年度に監事を拝命いたしましたD-20卒の今泉です。同窓会理事としてはずいぶん長い間かわらせていただき、広報、学術、会計と様々なお仕事を経験してまいりました。今回、初めて監事をさせて頂くことになったのですが、理事と監事では立場が違います。十数年に及ぶ理事の経験を踏まえ、同窓会会員の為にとという視点に基づき監事の職を努めて参ります。

理事(新任) 副会長 馬場孝道(D-23B 昭和50年卒) [組織部]



昭和薬科大学同窓会の理事を拝命致しました馬場孝道と申します。D23Bの卒業で東京都小平市内に薬局を経営しています。日本薬剤師連盟常任幹事と東京都薬剤師連盟副会長と西武薬剤師会会長を兼任しています。これまでの仕事では常に患者様と会員の皆様の利益となるように努めて参りました。同窓会の理事に於いても同様に心がけて会の運営に努めて参りたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

理事(新任) 長田哲治(D-52S 平成16年卒)
[組織部/広報部(HP担当)]



昭薬同窓会の先輩方、後輩方、関係者の方々。殆どの先生方とは初めましてとなるかと思えます。平成16年に生物薬学科を卒業した長田哲治と申します。今年度より、昭薬同窓会の最年少理事としてご信任頂きました。皆様方からのご指導、ご鞭撻、ご協力を賜り、昭和薬科大学卒業生としての誇りとプライドを、今後に繋いで行きたく考えております。何卒宜しくお願いいたします。

理事(新任) 前田順一(D-35B 昭和62年卒) [総務部]



縁あって、新任理事となりました。卒業後、製薬企業での研究及び創薬推進業務に従事し、3回の会社合併を経験しました。現在は大学から東に約3kmの位置にある田辺三菱製薬株式会社横浜事業所に勤務して、研究推進&新薬申請非臨床資料作成支援業務を行っています。身近な大学同期との飲み会や部活のOB・OG会には出席して参りました。今後、昭薬同窓会の各種活動や運用を先輩方に学んで、卒業生の同期会・支部会と同窓会へのつながりの輪拡大を支援できるよう頑張りますので、よろしく願い致します。

理事(再任) 鳥袋幸昭(D-20B 昭和47年卒) [総務部(部長)]



定年退職後、同窓会活動に関わるようになりました。昭薬同窓会会報に掲載される会員の活躍ぶりを拝読する度、心強く思っています。総務部員として、各部と連携しながら支部会やクラス開催に協力し同窓会活動に理解を深めていきたいと思えます。よろしく願いいたします。

理事(再任) 神戸敏江(D-36B 昭和63年卒)
[広報部(部長)/学術部/広報運営委員会]



引き続き理事に就任いたしました。現在は母校で講師をしております。会報・HPへのご投稿、ご意見、感想などお待ちしております。よろしく願いいたします。

理事(再任) 逸見仁道(D-22B 昭和49年卒)
[平成塾塾長/学術部/平成塾運営委員会]



私が理事を拝命してから5期目になります。アカデミア出身の理事として薬学領域や薬事行政等の専門家の方々と接することにより、勉強させて頂いて参りました。今後とも人を通じて学びつつ、学修したことを同窓会活動に活かしていきたいと存じます。

監事(新任) 村上純子(D-18B 昭和45年卒) [広報運営委員会]



今まで、亡き小林事務長のあとを引き継ぎ、会計を任せられ理事として同窓会活動に励んで参りました。この任務を若い世代にお任せ出来ることとなり、この度監事として同窓会を見守りたいと願っております。

寄付者ご芳名（敬称略）

2022年度 運営協力金 ならびに 災害寄付

多くの皆様からご寄附いただきました。心よりお礼申し上げます。

運営協力金（2022年度）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

S9 小牟田 エミ	S15 濱田 ヤエ子	S18 山本 カヨ	S19 濱 和子	S21 権田 揚子
D4B 十時 貴子	D5B 宮澤 一成	D6A 宮崎 圭子	D6A 鈴木 久子	D7A 大森 燿子
D7A 中村 精二	D7A 愛甲 京子	D7B 鈴木 良子	D8B 鈴木 淑子	D9B 鈴木 洋子
D9B 鈴木 稜子	D9B 藤井 妙子	D10A 木下 千恵子	D10A 谷本 善彦	D10B 高木 常吉
D11A 古泉 秀夫	D11A 平田 愛子	D11A 雨宮 礼子	D11A 米倉 昌毅	D11B 藤本 美智子
D11B 岡田 珠美	D11B 中枝 和子	D11B 中島 孝治	D11B 片岡 美智子	D12A 赤嶺 正子
D12A 大竹 博子	D12A 鈴木 マリナ	D12A 山本 剛	D12B 岡崎 由美子	D12B 坪井 敏子
D12B 桑島 紀美	D12B 三上 恵美子	D13B 江口 靖子	D13B 渡辺 純子	D14A 高取 亨
D14A 富永 佳代	D14A 松坂 久美子	D14B 古谷 富佐恵	D14B 阿部 敬子	D14B 源 邦子
D15A 荒野 壽子	D15A 金子 昌子	D15A 三浦 和子	D15B 八木澤 洋美	D16 神作 ムツ子
D16 徳永 恭子	D16 高田 一義	D16 前田 敏江	D16 平野 睦子	D16 吉田 定
D17A 出林 美岐子	D17B 田中 秀明	D17A 田中 由一	D17A 野崎 芳雄	D17B 佐藤 博子
D17B 望月 久仁子	D18B 梅村 幸夫	D18B 竹川 正恵	D18B 渡辺 淑恵	D18B 新富 信子
D19A 崎山 慶子	D19A 小川 陽子	D19A 吉原 隆一	D19B 森 はるみ	D19B 水城 義幸
D20A 土田 真弓	D20A 濱田 博夫	D20A 松村 秀樹	D20A 山崎 和幸	D20A 和田 恵子
D20B 藤井 光子	D20B 島袋 幸昭	D20B 藤井 侃	D21A 大石 博	D21A 加部 延茂
D21A 仲村 明	D21A 小林 雅代	D21B 与儀 純子	D21B 鈴木 民和	D21B 本部 一郎
D22A 屋嘉比 康則	D22B 石川 年春	D22B 佐藤 正美	D22B 岩崎 晃	D22B 越智 主計
D22B 武内 三紀子	D22B 秋月 鳳	D22B 田口 恭治	D22B 古畑 雪枝	D22B 逸見 仁道
D22B 松浦 功文	D23A 永石 美保子	D23A 與儀 和子	D23A 原田 哲夫	D23B 梅庭 昌子
D24A 二階堂 けい子	D24A 鶴谷 幸雄	D24A 室伏 昭	D24B 木下 泰男	D24B 渡辺 富美子
D24B 渡辺 良樹	D24B 大城 聡	D25A 濱崎 嘉子	D25A 上村 義昭	D25A 三浦 敦子
D25A 高橋 仁美	D25B 國場 幸史	D25B 川合 緑	D26B 田口 淳一	D26B 福枝 利恵子
D27A 青山 みさお	D27A 下角 千代	D27A 近野 美穂子	D27A 前島 照子	D27A 潮田 朱美
D27B 齊藤 眞由美	D27B 本田 京子	D27B 土屋 太子	D27B 丹野 真澄	D27B 向井 あき子
D28A 長谷 倫子	D28A 竹口 清彦	D29B 相田 邦彦	D29B 川神 裕司	D30A 矢吹 孝子
D30B 平林 千代	D31A 吉村 すみ代	D31A 佐藤 嘉洋	D31A 末廣 隆	D31B 小林 武史
D31B 下山田 博久	D31B 曾我部 厚史	D32A 坂元 微敏	D32A 辻 多須子	D32A 室 和恵
D32B 大川 正晃	D32B 塚本 久美	D33A 岸 千草	D33A 大平 信道	D33B 竹花 富美子
D33B 堤 亮一	D34A 勝山 昌佳	D34B 小林 広幸	D34B 森田 俊二	D35A 浜谷 越郎
D35A 佐々木 啓介	D35B 中村 明生	D36A 斉藤 裕子	D36B 鈴木 秀樹	D36B 林 富彦
D36B 佐藤 つづり	D37A 滝尻 茂晴	D37A 吉成 礼子	D38A 谷口 知美	D38A 高木 昇
D38A 望月 江利花	D38A 世永 有里	D39A 小西 淳子	D39B 濱野 明子	D40Y 山本 裕子
D40Y 草野 元	D40S 大竹 万貴子	D41Y 森本 知香子	D42S 池田 勇	D42S 松井 麻理亜
D42S 香川 祥毅	D42S 小平 朱美	D44Y 鈴木 貴久	D44S 石田 耕太	D45S 池田 聡子
D46Y 高木 佳子	D46S 川上 和宜	D47Y 河合 輝一	D47Y 毛利 美香	D47S 大和田 桂子
D51S 長岡 匠	D56Y 武井 香代子	小泉 まき子	匿名希望 1名	氏名不明 2名

(D-49S 故小泉京子様ご令妹)

186名（208件）寄附総額 829,000円

災害寄付（2022年度）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

S18 山本 カヨ	D3A 中村 正子	D5B 宮澤 一成	D7A 中村 精二	D7A 愛甲 京子
D9B 鈴木 稜子	D10A 木下 千恵子	D10A 谷本 善彦	D10B 高木 常吉	D11A 平田 愛子
D11A 米倉 昌毅	D11B 片岡 美智子	D12A 赤嶺 正子	D12A 大竹 博子	D12A 山本 剛
D12B 坪井 敏子	D12B 三上 恵美子	D13B 渡辺 純子	D13B 曾澤 静子	D14A 高取 亨
D14A 富永 佳代	D15A 金子 昌子	D15A 三浦 和子	D15B 八木澤 洋美	D16 徳永 恭子
D16 高田 一義	D16 前田 敏江	D16 吉田 定	D17B 田中 秀明	D17B 佐藤 博子
D18B 新富 信子	D19A 崎山 慶子	D19A 高坂 光則	D20A 松村 秀樹	D20A 山崎 和幸
D20A 和田 恵子	D20B 上原 陽子	D20B 島袋 幸昭	D21A 仲村 明	D21A 小林 雅代
D21B 与儀 純子	D22A 屋嘉比 康則	D22B 佐藤 正美	D22B 古畑 雪枝	D22B 松浦 功文
D23A 永石 美保子	D23A 與儀 和子	D23B 梅庭 昌子	D24A 鶴谷 幸雄	D24B 小暮 昌子
D24B 渡辺 富美子	D24B 渡辺 良樹	D24B 大城 聡	D25A 上村 義昭	D25A 高橋 仁美
D26B 小林 まゆみ	D26B 福枝 利恵子	D27A 前島 照子	D27B 齊藤 眞由美	D27B 土屋 太子
D28A 長谷 倫子	D28A 竹口 清彦	D30A 矢吹 孝子	D30B 平林 千代	D31A 佐藤 嘉洋

D31B 下山田 博久	D32A 坂元 微敏	D32A 細田 淳子	D32A 辻 多須子	D32A 室 和恵
D32B 大川 正晃	D32B 塚本 久美	D33A 岸 千草	D33A 大平 信道	D33A 川島 裕幸
D33B 竹花 富美子	D34A 勝山 昌佳	D34B 小林 広幸	D35A 石橋 宏行	D35A 佐々木 啓介
D35B 中村 明生	D36A 斉藤 裕子	D36B 林 富彦	D38A 高木 昇	D38A 世永 有里
D39A 山田 久美子	D40Y 山本 裕子	D40Y 草野 元	D40S 大竹 万貴子	D41Y 森本 知香子
D42S 池田 勇	D42S 松井 麻理亜	D47S 大和田 桂子	D55S 山崎 有	D56Y 武井 香代子

95名(102件) 寄付総額 344,000円

同窓会費ならびに運営協力金のお願い

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ご承知のように同窓会は皆様の同窓会費ならびに寄附金(運営協力金)により運営されています。同窓会の事業継続のため会費納入にご協力をお願いいたします。

会費は単年度決算方式です。任意の「運営協力金」につきましても創生以来、多くの同窓生の方々からご賛同とご支援を頂き感謝いたしております。更なるご協力をお願い申し上げます。

また、同窓会では自然災害に見舞われた同窓生を対象にお見舞状の発送や見舞金の抛出も行っていました。その財源として、一般会計である会費や運営協力金とは別に特別会計「災害基金」を設け、寄付を募集しています。同封の振込用紙の「災害寄附金」欄が該当します。こちらもよろしく願いいたします。

なお、会費を振込用紙で複数年分振り込まれた方には、申し訳ありませんが財務処理は単年度決算のため、余剰分を運営協力金として扱わせていただきますのでご了承下さい。

一般社団法人 昭葉同窓会
代表理事(会長) 田口 恭治

いつもご協力ありがとうございます。引き続き以下の口座で〔一般寄附〕および〔災害寄附〕を受付けています。

○災害寄附/運営協力金口座：郵便振替 口座番号：00100-9-485265

振込用紙は同封の振込用紙か郵便局備え付けの振込用紙をご利用下さい。郵便局備え付けの振込用紙の場合はご依頼人名欄に必ず「災害寄附」と書き、「卒業年とお名前」を入れて下さい。(例：昭和58年卒の場合、S58昭葉花子)

○災害寄附口座：りそな銀行 成瀬支店(支店番号647) 口座番号(普通) 1365833

いずれも口座名義は

○一般寄附口座：みずほ銀行 町田支店(支店番号116) 口座番号(普通) 1782080

一般社団法人 昭葉同窓会

会 員 訃 報

ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)()内は旧姓

S-17 梅本 登志子	大阪府	2、3年前	D-20A 加藤 治夫		
S-17 吉原 紀美江(武田)	長崎県	2021	D-20A 浦崎 正枝(久場)	沖縄県	2023.4
D-2 柴崎 勲平	神奈川県	2020.5.4	D-20A 中島 直紀	岐阜県	2018.1.6
D-2 清遠 明美(前田)	高知県	2022.9.26	D-20B 大國 さち子(前田)	東京都	2023.5.20
D-3B 佐藤 裕男	秋田県	2022.10.13	D-20B 遠藤 秀治		
D-5A 嶋田 瑛子(芥川)	千葉県	2023.5.29	D-20B 金本 泰弘		
D-5B 浅野 芳久	東京都	2022.12.18	D-20B 崔 松吉		
D-9A 伊藤 文雄	東京都	2023.8.20	D-20B 村上 昭二	神奈川県	2022.5.3
D-9B 森村 利世子(中島)	神奈川県	2008	D-20B 佐藤 典男	栃木県	2022.11
D-11A 山本 宏	千葉県	2023.1.27	D 20B 高橋 正史	北海道	2022.12.28
D-13A 金子 恭庸	千葉県	2023.3.9	D-20B 武富 憲司	長崎県	2022.2.21
D-14A 小川 カヅヨ(沖田)	東京都	2020.11.26	D-20B 田中 章喜	奈良県	2014.12.5
D-14A 石巻 具子(村尾)	東京都	2021.6.2	D-20B 橋本 光史		
D-14B 秋田 順一郎	高知県		D-25A 江畑 弘彦	東京都	2022.9
D-15A 酒井 茂子(藤巻)	新潟県	2021.2.14	D-25A 松村 善一	東京都	2023.9.5
D-16 峯尾 龍巳	神奈川県	2023.1.16	D-26A 鈴木 伊知郎	北海道	2023.5.8
D-20A 坂井 賢一			D-27A 露口 昭美(重松)	愛媛県	2023.5.18
D-20A 新矢 賢一	千葉県	2021.7	D-28B 百武 幸江(高良)	東京都	2023.3.2

第13回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会

社員総会は毎年6月第3日曜日です。
次回は2024年6月16日(日)13時～となります。
※オンライン、書面審議の併用での開催を検討しております。

支部会・クラス会などのお知らせ

D-29AB合同クラス会

日時：2024年3月3日(日)12:00～14:30
会場：渋谷エクセル東急ホテル
代表者：佐々木雅弘(D-29A)

神奈川北相・横浜南・湘南支部合同研修会

日時：令和5年11月12日(日)10:00～15:00
会場：レンブラントホテル海老名
研修会：演題「薬剤師と看護師の協働に向けて：看護の理解と連携の促進」
講師：富岡 寿英 先生
東京慈恵会医科大学医学部看護学科 在宅看護学助教

平成塾通信講座スクーリング

第30回スクーリング「悪性腫瘍の薬物療法」
日時：2024年2月25日(日)を予定しています。
受講料：2,000円 CPC認定単位：2単位 オンライン開催
※2023年度平成塾通信講座受講者ならびに昭和薬科大学6年制卒業生は、同窓会HPからお申込み頂くと無料で聴講できます。

平成塾薬剤師業務支援講座

薬剤師業務支援講座4 オンライン(ZOOM)開催
日時：2023年11月19日(日)13:00～14:30
講演：「安全ながん薬物療法の提供を目指して」小澤有輝先生
一般財団法人 神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部
受講料：500円/回 CPC認定単位：1単位
※昭和薬科大学6年制卒業生は同窓会HPからお申込み頂くと無料で聴講できます。
※オンライン受講が困難な方につきましては、昭薬会館での受講も可能です。事前に事務局までお問い合わせください。

第57回日本薬剤師会学術大会

会期：2024年9月22日(日)・23日(月・祝)
開催地：埼玉県さいたま市
※昭薬同窓会in埼玉の開催につきましては現在検討中です。

同窓会 会報 原稿募集!!

皆様からのご寄稿やメッセージを募集しています。
学生時代・母校・恩師の思い出、近況、お仕事・趣味の話、会報の感想など内容は自由です。
「寄稿」は字数制限なし。「会員のひろば」は20～800字まで。
短い一言メッセージ、写真、イラストなども歓迎。
氏名(卒業年またはクラス名)、ご連絡先(住所・電話番号・メールアドレス等)、をお書き添えのうえ、同窓会事務局まで郵送、FAX、Eメール(件名を「会員のひろば」または「寄稿」としてください)でお送りください。昭薬同窓会ホームページからもご投稿いただけます。

ご投稿をお待ちしております

発行者：一般社団法人 昭薬同窓会 代表理事(会長) 田口 恭治
事務局：〒194-0042 東京都町田市東玉川学園3丁目3138番地 昭薬会館5階内
電話 042-722-5750 FAX 042-721-1295
Eメール：alinfo@shoyaku.net ホームページ：https://shoyaku.net
印刷所：株式会社 相模プリント

広告募集

お勤め先、事業内容などを会報誌でPRしてみませんか?

同窓会では企業・クラブなどの広告や、同窓生の交流促進のための名刺広告を募集しています。事業紹介、人材募集、研修会の案内など会誌を毀損させないものならどのようなものでも結構です。皆様の協賛、ご出稿をお待ちしております。

広告料	1頁	1/2頁	1/4頁	1/8頁
裏表紙(カラー)	¥100,000	¥50,000	¥25,000	¥12,500
内頁(白黒)	¥60,000	¥30,000	¥15,000	¥7,500
名刺広告(横7.2×縦3.5cm、内頁・白黒)	¥5,000-			

※その他、要望等がございましたらご相談ください。詳細は同窓会HP(<http://shoyaku.net>)、または事務局までお問い合わせください。

同窓会費納入方法

口座名義：一般社団法人昭薬同窓会
口座番号：00100-9-485265 同窓会費：3000円

郵便振替(郵便振込用紙)

注：同封の振込用紙または郵便局備え付けの振込用紙をご利用ください。

ゆうちょダイレクト

*ゆうちょダイレクトでの送金もできます。なお、ご依頼人名欄にはお名前の前に卒業年を入れて下さい。
例：昭和58年卒の場合、S58 ショウヤクハナコ

口座引き落としもご利用下さい

ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方

お手持ちのゆうちょ銀行の口座から毎年6月30日に引落すものです。用紙は同窓会事務局にありますので、ご連絡いただければお送りします。

市中銀行・信用金庫の口座をお持ちの方

お手持ちの銀行及び信用金庫の口座から毎年6月3日または7月3日に引落すもので、この場合は、同窓会事務局にある所定の申込用紙に記入してください。事務局にご連絡いただければお送りします。

同窓会運営協力金のお願い

皆様のご厚情により多くの申し込みがあり心より感謝いたしております。本年も引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

部活クラブ代表社員を募集しています!

「部活クラブ代表」は代議員(社員)として同窓会運営に携わることができます。現在活動のないクラブ等の参加も認められておりますので、積極的にご参加ください。詳細は同窓会HPまたは事務局までお問い合わせください。

編集後記

7月に昭薬同窓会新執行部が発足いたしました。新風に乗って新しい試みにも挑戦していきたい所です。今号から新たに「薬局通信」の掲載を開始いたしました。地域の薬局で活躍する同窓生を紹介していく予定です。125号は4頁増の20頁となりましたが、母校の思い出や、幅広い分野での同窓生の活躍に触れ、編集作業中も心暖かく、励まされる思いでした。今後も皆様の声を反映した紙面づくりに努めていきたいと思っております。会報へのご意見・ご要望・感想などお寄せ頂きますと幸いです。

最後になりましたが、ご寄稿頂いた卒業生の皆様、ご協力頂いた皆様に深く感謝いたします。(T.K)

■会報掲載の原稿・写真等の返却について

会報に掲載した原稿、写真、イラスト等については返却いたしませんのでご了承下さい。ただし返却が必要な場合は速慮なくお申し出下さい。

同窓会事務局へのお問合せは月曜日～金曜日の12時から15時にお願いたします。